

科目区分	専門教育科目	科目名	保育実習Ⅲ		科目コード	50605	担当者	島田 幸一郎	
対象学生	幼児教育学科2年生		学期区分	前期	単位数	2	卒業要件	選択	
							免許・資格要件	保育士資格選択必修	
科目の主題						成績評価の方法と割合			
<p>保育実習Ⅰをふまえ、家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉および社会的養護に対する理解を深める。そのうえで、児童福祉施設（保育所以外）における家庭支援のための知識、技術などを具体的に学び、保育士としての自己課題を明確にする</p>						<p>受講態度 50% 実習評価 50%</p>			
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標			
						誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）	
1.	利用者への支援の方法や技術を実践する							○	
2.	施設の地域社会における役割と機能を理解する					○			
3.	家族関係の調整・保護者支援の現状を知る					○			
4.	施設に関わる多様な職種の人との連携やチームワークの重要性を理解する						○		
5.									
授業方法									
学外実習（児童福祉施設 2年次9月に10日間）									
準備学修（予習、復習等に必要時間または具体的な学修内容）									
保育実習Ⅰ・保育実習指導Ⅲで実習に対する知識技術を深める。									
授業計画									
<p>実習期間：2年次 9月 10日間</p> <p>施設で10日間、利用者と生活を共にし、食事や身の周りの支援、また各種作業を共にすることを通して、利用者の実態を理解することに努め、施設や利用者の実状に応じた支援の方法や技術を学ぶ。</p> <p>（a）現場における基本的な勤務態度や姿勢を学ぶ （b）働きかけの姿勢や技術を学ぶ ・集団への働きかけ（集団の把握） ・個々への働きかけ（個別への対応） ・居室内の整備 ・職員の協力・連携 など （c）記録の書き方を学ぶ ・利用者との関わりを反省し振り返り手段としての記録 （d）施設の役割と機能について理解する ・保護者支援 ・施設の地域における役割</p> <p>10月 実習記録、実習報告書の提出</p>									
「教育・保育実習の手引」 「実習記録ハンドブック」						利用者への支援の理念・技術に併せて、施設の社会的役割についても現場でしっかり確認してほしいと思います。			